

皆さん、おはようございます。

5月には感動の体育祭、先週は3年生の皆さんはSMARTでの大きな経験を積んでまた一步、前へ前へと進んでくれたことと受けとめています。改めて SMART は Shinonome, Mission, Research, Action, そして Tour の頭文字をとった非常に意味深い言葉であり、東雲中にとって大事な活動の中核とも言うことができます。この3年生のSMARTにむけて、7月には2年生の皆さんはPre Research Tour, 1年生の皆さんはPre Task Trip も待っています。

実は最近、お隣の東雲小の先生方と、なぜ東雲は他の学校にはないことが色々多いのか、もっと学校では他にやるべきことがあるのではないかと、という議論をとっています。研究的な言葉でいうと認知な活動を大事にするか非認知な取り組みを重要視するかという感じです。東雲小でも低学年では元宇品探検、かつての3年生は川の学習、いまも4年は海の学習、5年は山の学習、6年生は昨日から沖縄への旅の学習の真只中です。もしかすると東雲中の皆さんも同じように、他の学校にはない東雲中での様々な活動を不思議に思っている人が多いかもしれません。

この秘密が少しだけ分かるヒントとして、今日は三人の人物を皆さんに紹介します。松尾孝さん、三宅一生さん、そしてスティーブ・ジョブズさんです。この中で多くの皆さんも知っているというのは、ジョブズさんでしょうか。iPhoneの生みの親といえば分かるかと思います。このジョブズさんは生前はいつも同じような服を着ていました。黒いタートルネックです。ジョブズさんが愛用したタートルネックは三宅一生さん、これは世界的な服飾ブランドのISSEY MIYAKEをつくりだした方ですが、実は皆さんと同じこの東雲中で学んだ大先輩です。なぜジョブズさんは三宅さんの作品を愛用したのか、皆さんも少し調べたり考えたりすると、東雲中での学びの秘密の一部がつかめるかもしれません。

もう一人、松尾孝さんは皆さんもよくご存じのカルビーの創業者で、松尾さんも東雲の大先輩です。松尾さんは小学校の時から小エビを取ることが得意で取ってきた小エビをお母さんが油であげてくれたものが大好きだったそうです。それが現在のカルビーの大きな原動力となったかっぱえびせんの開発に後々につながり、かっぱえびせんは日本だけでなく世界でもShrimp Chipstとして販売されています。この松尾さんがカルビーの中で大事にした言葉と考え方が「一人・一研究」でした。

さて、皆さんの東雲の大先輩である松尾孝さんのかっぱえびせん、三宅一生さんの黒いタートルネック、そしてジョブズさんのiPhoneとのつながりや共通点を皆さんはどのように考えるでしょうか。また、詳しくは私からもお話をしていきますが、三人共に「あたま」だけで物事を考えてきた人ではないことは間違いなさそうです。「あたま」だけでなく「こころ」と「からだ」もつかって、何をどのように学び考え生み出していくのか、これからも東雲の中で共に考えていきましょう。